

「PM2.5 発生源は身近なところにある！」 対策済ガソリンスタンドの把握と奨励に向けて

神奈川県議会議員 石川ひろのり

呼吸器や循環器の疾患、肺がんなど、健康上問題を引き起こす恐れがある、通称PM2.5の発生源が身近なところにあることをご存知でしょうか。先日視察を行った神奈川県環境科学センターでは「環境監視（モニタリング）」「調査研究」を行っており、大気・水環境等の実態把握、具体的に

は光化学スモッグの対応や水質モニタリングなどを行っています。PM2.5にはさまざまな種類があり、その種類によっては関東地方で国内発生源の50%と推計される研究結果も出されています。

発生源の一つは「ガソリンの給油」
ガソリンを給油する際、



石川ひろのり

1968年11月3日生まれ / 横浜市出身 / サラリーマンを約20年経験 / 参議院議員政策秘書、衆議院議員 笠ひろふみ秘書など経験 / 麻生区在住

『ガソリンベーパー』という蒸気が発生します（給油時のモヤモヤと

ベーパーを回収する「キャニスター」と呼ばれる大型の装置が搭載されていることはもちろん、2006年に以降給油口を開けた際にガソリン蒸気が放出されることを抑制するORVRの装着が義務付けられています。しかし、日本では給油機の給油流速が早いためこのORVR導入が難しいとされています。だからこそ私は、対策済のガソリンスタンドの把握と奨励を行うよう国へ要請し、県には対策済スタンドの情報を開示するよう求めています。

石川ひろのり
事務所

県政への意見・ご要望はこちらまで

麻生区百合丘1-5-4
米山ビル202

☎044-455-6611

☎044-455-6614

<http://www.hiro-ishikawa.jp>